

≪貧血 No2 解答≫

【問 1】

正解 2

a○

b○

c×：ビタミンB12は、正常な赤血球の形成に働く。

消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられるのはビタミンC。

d○

[H29 近畿ブロック]

【問 2】

正解 3

a×：鉄製剤を服用して便が「黒くなることがあるが、服用を中止する異常ではない。服用前の便の状況との対比が必要である」。

b×：巨赤芽球貧血は、ビタミン「B2」ではなく「B12」が不足して生じる。

c○

d×：妊婦は鉄要求量が増加するが、「予防」に鉄製剤を使用することは適当でない。

[H30 近畿ブロック]

【問 3】

正解 3

a×：食生活の改善を図ることは重要。

b○

c×：記載は、ビタミンCの内容。

ビタミンB6は、ヘモグロビン産生に必要。

d○

[H29 東海・北陸ブロック]

【問 4】

解答 3

1○

2○

3×：消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つ目的で、「葉酸」ではなく「ビタミンC（アスコルビン酸等）」が配合されている場合がある。

4○

[H30 東海・北陸ブロック]

【問 5】

正解 3

a○

b○

c×：服用の前後30分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が悪くなることもある。

d×：記載は、マンガンの内容。硫酸コバルトではなく「硫酸マンガン」。

コバルトは、赤血球ができる過程で必要不可欠なビタミンB12の構成成分である。骨髄での造血機能を高める目的で、硫酸コバルトが配合されている場合がある。

[R1 東海・北陸ブロック]

【問 6】

正解 4

a×：鉄分の摂取不足を生じても、初期には貯蔵鉄や血清鉄が減少するのみでヘモグロビン量自体は変化せず、ただちに貧血の症状は現れない。

b×：貧血の症状がみられる以前から予防的に貧血用薬（鉄製剤）を使用することは適当でない。

c○

d○

[R2 東海・北陸ブロック]

【問 7】

正解 2

- 1 × : 複数の貧血用薬を併用すると、鉄分の過剰摂取となり、胃腸障害や便秘等の副作用が起こりやすくなる。
- 2 ○
- 3 × : 服用の前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が「悪くなる」。
- 4 × : 食生活を改善し、かつ鉄製剤（貧血用薬）の使用を 2 週間程度続けても症状の改善がみられない場合には、貧血用薬の使用を漫然と継続せずに医療機関を受診するよう促すべきである。

[R3 東海・北陸ブロック]

【問 8】

正解 2

- a ○
- b × : 記載は、ビタミン C の内容。  
葉酸は、正常な赤血球の形成に働く。
- c ○
- d × : 貧血の症状がみられる以前から予防的に貧血用薬（鉄製剤）を使用することは適当でない。

[H30 首都圏ブロック]

【問 9】

正解 5

- a × : 「マンガン」は、糖質・脂質・タンパク質の代謝をする際に働く酵素の構成物質であり、エネルギー合成を促進する目的で、硫酸「マンガン」が配合されている場合がある。
- b × : 鉄製剤服用の前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が「悪く」なる。
- c ○
- d ○

[R3 首都圏ブロック]

【問 10】

正解 4

a×：鉄分の摂取不足が生じて、肝臓にある貯蔵鉄が補い、直ちには貧血の症状が現れない。

b○

c○

d○

[H29 北関東・甲信越ブロック]

【問 11】

解答 5

a×：貧血の症状がみられる以前から予防的に貧血用薬を服用することは「適当でない」。

b○

c×：貧血用薬を服用する前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が「悪くなることがあるので、服用前後はそれらの摂取を控えることとされている」。

[H30 北関東・甲信越ブロック]

【問 12】

正解 2

a○

b○

c×：ビタミン B 6 ではなくビタミン C。

[R1 北関東・甲信越ブロック]

【問 13】

正解 4

a×：貧血用薬（鉄製剤）の主な副作用として、「悪心（吐きけ）、嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛、便秘、下痢等の胃腸障害」が知られている。

b○

c×：服用の前後 30 分にタンニン酸を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が「悪くなることがある」。

d○

[R2 甲信越ブロック]

【問 14】

正解 5

a ○

b ○

c ○

d × : 服用の前後 30 分に「タンニン酸」を含む飲食物（緑茶、紅茶、コーヒー、ワイン、柿等）を摂取すると、タンニン酸と反応して鉄の吸収が悪くなることがある。

アスコルビン酸（ビタミン C）は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として用いられる。

[R2 北関東ブロック]

【問 15】

正解 4

a × : 『溶性ピロリン酸第二鉄』により、便が「黒く」なることがある。

b × : 『ビタミン B12、葉酸』は、正常な赤血球の形成を目的として配合されている。

c × : 『ビタミン C』は、消化管内で鉄が吸収されやすい状態に保つことを目的として配合されている。

d ○

[R3 北関東・甲信越ブロック]

【問 16】

正解 5

[H29 北海道・東北ブロック]

【問 17】

正解 4 : 消化器系への副作用を軽減するには、「食後」に服用することが望ましい。

[R1 北海道・東北ブロック]

【問 18】

正解 2

a ○

b × : 貧血の症状がみられる以前から予防的に貧血用薬(鉄製剤)を使用することは適当でない。

c ○

d ○

[R2 北海道・東北ブロック]

【問 19】

正解 2

a × : 白血球ではなく、「赤血球」である。

b ○

c ○

d ○

[R3 北海道・東北ブロック]